

ひがししろこども園の皆さんとサツマイモを収穫しました

9月14日（月）にひがししろこども園の園児約20名とサツマイモを収穫しました。5月11日に定植を行ったサツマイモの苗が育ち、今年も大変立派なサツマイモが収穫できました。当日は天候にも恵まれ、園児も汗をかきながら、一生懸命サツマイモを掘っていました。農業生産コース（野菜専攻）の3年生、14名が収穫のお手本を見せ、掘り方のコツなどを分かりやすいように工夫して、教えていました。園児からも「大きい！！」「イモ掘り楽しい！！」と収穫体験を楽しんでいました。

収穫体験後には、野菜クイズにも挑戦し、サツマイモについて楽しく学んでいました。

来年度も引き続き、サツマイモ栽培を継続していく予定です。



今年度、ひがししろこども園と栽培したサツマイモは「紅あずま」という品種です。1980年代から栽培されている品種で、関東を中心に長く愛されています。他の品種に比べると、ホクホクとした食感が特徴で、ねっとりとした口当たりの「紅はるか」とは違い、天ぷらや大学芋にも適しており、焼き芋はもちろんのこと、幅広い用途で親しまれています。

サツマイモはヒルガオ科に属する野菜で、根菜類に分類されます。「イモ」と言えばジャガイモがよく想像されますが、栄養が貯蔵される場所が異なります。サツマイモは「根」に栄養を蓄える「塊根（カイコン）」であるのに対し、ジャガイモは「茎」に栄養を蓄える「塊茎（カイケイ）」です。

野菜栽培を通し、1人でも多くの園児に野菜栽培の楽しさを学んで欲しいと思います。